

OBM マンスリー

2015.9月号 Vol.185

2015 年 9 月 25 日発行

編集・発行

一般社団法人 大阪ビルメンテナンス協会

大阪市北区中津1-2-19 新清風ビル 2 F
TEL 06-6372-9120 FAX 06-6372-9145
Eメール info@obm.or.jp
ホームページ www.obm.or.jp

そこが知りたい Q&A 佐々木洋信新会長ってどんな人？

新役員体制が発足し、佐々木新会長のもと、新たなスタートを切りました。ビルメンテナンス業界を取り巻く環境は依然厳しいですが、その舵取りを担う新会長の素顔をちょっとのぞいてみました。



Q. ビルメンテナンス業界に入られたきっかけを教えてください。

佐々木) 大学4年のとき、現会社に友達とアルバイトとして手伝っていました。

私の姉が勤務しているの紹介です。大学卒業後、即入社して、現在に至っています。採用試験はありませんでした。今もありません。

Q. 協会の仕事も今後益々多忙になると思いますが、会社社長としての仕事との調整はどのようにされていますか。

佐々木) 連絡などは携帯電話とメールを利用して調整を図っています。

専務と本社スタッフにカバーしてもらっている分が大きいです。

Q. 学生時代はどのような学生生活を送られていましたか。

佐々木) 高校時代はバスケット部で県大会優勝を目指していました。最高の思い出は近畿大会に出場したことです。大学時代はアルバイト中心で先輩、友達と飲み会ばかりで楽しんでいました。海外旅行もよく行きました。もう一度戻りたいですね。

Q. 最近お孫さんが生まれたとお聞きしましたが、お気持ちはいかがでしょうか。

佐々木) 初孫の男の子です。2歳頃が一番可愛くて好きですので、早く成長してほしいですね。お爺ちゃんぽくなるでしょうね。

Q. よく梅田界隈の飲み屋に行かれると聞いていますが、最後に、お気に入りのお店があればご紹介ください。

佐々木) 委員会の皆様と居酒屋へ行きます。安くて、美味しい店を探しています。

近くでお気に入りの店はJR大阪ガード下、「新梅田食堂街」の「新喜楽」です。天ぷら・一品など、中でも「カモ鍋」が絶品です。一人用のステン鍋で、お酒を飲むのに丁度良い。お値段もリーズナブルです。一度、寄ってみてください。

ズームアップ



公共建築物の維持管理に関する要望書

今年の大阪の最低賃金の引き上げ目安は20円で、858円となりました。直近3年間でみますと6.7%増の57円と増え続けております。

この最低賃金の上昇は、原価に占める人件費の割合が高いビルメンテナンス業界において、複数年契約では尚更であります。単年度契約でも原価の上昇が見通せない状況の中で、競争入札は依然として激しい価格競争が続いております。

このような情勢の中、昨年改正された「公共工事の品質確保の促進に関する法律」では、「公共工事の品質は完成

後の適切な点検、診断、維持、修繕その他の維持管理により、将来にわたり確保されなければならない。」とされています。また、公共建築物建設後の維持管理の重要性について、発注者が考慮すべき点を本年6月10日付けの厚生労働省健康局長により「ビルメンテナンス業務に係る発注関係事務の運用に関するガイドライン」として示しています。

これには公共建築物の維持管理を適切に行うためには、ダンピング受注の排除、ビルメンテナンス業の健全な育成を図ることが不可欠とされています。

ガイドラインには大まかに言いますと、①維持管理計画を立て、適切な仕様書を作成する②最新の労務単価を適用し積算基準に基づいた予定価格の設定③総合評価方式導入の検討④適切な入札参加資格の設定⑤ダンピング対策の実効性を

高めるため、最低制限価格制度の導入⑥予定価格の事後公表⑦複数年契約途中の価格変動が生じた場合等に柔軟に対応する⑧業務実施状況を検査評価するインスペクション制度の導入⑨評価結果等のデータベース化、等々が盛り込まれております。

契約推進委員会としまして、このガイドラインが適切に運用されることにより、価格競争に偏り過ぎた現状が見直されるよう大阪ビルメンテナンス政治連盟と連携して政党へ要望書を提出しております。また、大阪府・大阪市へも同様に要望書を提出し主旨を説明して、業界の実情を理解して頂くと共に、業務発注方法の変更に繋がるよう委員会活動をしております。

(契約推進委員 笹岡之洋)

27年度 第3回 理事会

9月4日(金) 協会会議室

1. 審議事項

- ①新入会について／承認
昭和メンテナンス(株)、ジャパンビルメンテナンス(株)、(株)テックヤマオカ
- ②退会について／承認
(株)阪神ビルサービス
- ③みおつくし福祉会…就労斡旋の依頼について／承認

2. 報告事項

- ①全協報告について
- ②委員会・部会報告について
- ③事務局
・合同企業説明会について
・平成27年度建築改修技術講習会

広報委員会

8月5日(水) 出席者6名 協会展示室

1. 「こみゆにけ～しゅんず盛夏号」の編集作業を行った。
2. 「OBMマンスリー」H27年8月号の編集作業を行った。

8月19日(水) 出席者8名 協会展示室

1. 「こみゆにけ～しゅんず盛夏号」の編集作業を行った。
2. 「OBMマンスリー」H27年8月号の編集作業を行った。

総務友好委員会

8月28日(金) 出席者13名 協会会議室

1. ソフトボール大会 清算、反省会
2. 親睦ゴルフコンペについて
・案内文(案)及び運営の確認をした。
3. 懇親旅行・麻雀大会について
・麻雀大会を廃止し、10/20(火)に日帰懇親旅行を開催する事に決定した。
・案内文(案)及び運営の確認をした。
4. 新年会について
・9～10月に第一回の見積概算を帝国ホテルから取得する予定。

公益事業委員会

8月19日(水) 出席者10名 協会会議室

1. OBM天神祭御神典巡行・清掃ボランティア反省会について
2. ビルメン社会貢献セミナーについて
○障害者差別解消法等について
・差別解消部会の部会長をしている大阪府立大学の関川教授に登壇依頼
・セミナー内容について要望事項を確認した。

設備保全部会

8月20日(火) 出席者7名 協会会議室

管理技術調査研究小委員会

平成27度小委員会テーマ「機械警備に関する最近の技術情報及び基礎技術」(仮題)の活動計画どおり、セコム、アルソック2社への情報収集を開始した。

- 先ず、セコムとの初回打合せを行った。
- ・セコムのテーマへのサポート内容を確認した。
 - ・資料作成を依頼した。

近畿地区本部だより

●ビルメンヒューマンフェア'15 第14回全国ビルクリーニング技能競技会 結果速報!

9月16日(水)に行われた全国ビルクリーニング技能競技会の結果をお知らせいたします。

- ・厚生労働大臣賞
九州地区 伊藤 允二さん
九州総合サービス株式会社
- ・北海道知事賞
北海道地区 金谷 圭祐さん
北海道クリーン・システム株式会社
- ・厚生労働省職業能力開発局長賞
九州地区 岡村 琢弥さん
株式会社メンテナンス
- ・札幌市長賞
東京地区 竹田 成宏さん
太平ビルサービス株式会社
- ・中央職業能力開発協会長賞
四国地区 都築 美穂さん
四国管財株式会社
- ・全国ビルメンテナンス協会長賞
中国地区 山本 和志さん
三栄産業株式会社
- ・建築物管理訓練センター理事長賞
参加者全員

皆さんお疲れ様でした!!

●平成27年度『見える』安全活動コンクールの実施等について

～労働災害防止活動の「見える化」事例を募集(9月1日～10月31日)～

厚生労働省では、労働災害防止に向けた企業の取組み事例を募集・公開し、国民からの投票により優良事例を選ぶ平成27年度『見える』安全活動コンクールを実施します。

- ・応募期間: 9月1日(火)～10月31日(土)
- ・投票期間: 12月1日(火)～平成28年1月31日(土)

・結果発表: 平成28年3月上旬(予定)
詳細は下記URLから『見える』安全活動コンクール 特設ページをご覧ください。

<http://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzenproject/concour/oubo.html>

●平成28年経済センサスー活動調査の実施について

総務省・経済産業省では、平成28年6月にすべての事業所・企業を対象とした「平成28年経済センサスー活動調査」を実施いたします。それに先立ち、調査の前年である平成27年9月中旬頃に、支所等を有する企業本社の方々に対して、調査の円滑な実施のため、企業傘下の支所等の事業内容などを確認する「企業構造の事前確認」を行います。

この調査は、我が国における産業構造を包括的に捉え、実態を明らかにすることを目的とする政府の重要な調査であり、統計法(平成19年法律第53号)に基づいた報告義務のある調査(基幹統計調査)として平成24年2月に1回目を実施し、今回は2回目の調査となります。

その調査結果は、地方税法(昭和25年法律第226号)に基づく地方消費税の清算の際に利用される他、国及び地方公共団体における各種政策の立案、実施のための基礎資料としての利活用や、経営の参考資料として事業者の方々にも広く活用していただいております。

調査の趣旨・必要性、「企業構造の事前確認」の実施について御理解・御協力いただきますようお願い申し上げます。

事務局からのお知らせ

●OBM日帰り懇親旅行のご案内

- ・日程: 10月20日(火) 8時15分
梅田毎日新聞ビル前
- ・行先: 信楽陶芸村、松茸と近江牛食べ放題「魚松」、三井アウトレットパーク滋賀竜王
- ・定員: 40名(1社4名様まで)
- ・費用: お一人様10,000円
- ・締切: 10月2日(金)

※定員に達し次第締め切り
※FAXにてご案内しておりますが、詳細は事務局までご連絡ください。

●大阪府フロン対策協議会 業務用機器使用者向けセミナーのお知らせ
「知っておきたい！フロン対策～フロン類対策の基礎知識から取り組み事例まで幅広く紹介します～」

- ・日程：10月29日（木）14：00～16：30
 - ・会場：国民会館住友生命ビル 12階 大ホール
大阪府中央区大手前2丁目1-2
 - ・定員：200名（先着順）
※申込み定員になり次第受付を終了します。
 - ・参加費：無料
- ※送達文書でお送りしておりますが、詳細は下記をご覧ください。
<http://www.pref.osaka.lg.jp/hodo/index.php?site=fumin&pageId=21676>

●「エコアクション21 10周年記念大会 in Osaka」のご案内

- エコアクション21地域事務局大阪より開催案内がまいりましたのでお知らせ致します。
- ・日程：10月6日（火）13：00～
 - ・会場：大阪市中央公会堂 中集会場
大阪府北区中之島1-1-27
 - ・定員：500名（先着順）
 - ・参加費：無料
- ※下記サイトより申込書をダウンロードして、FAXかメールでお申込みください。
<http://www.ea21-osaka.org/>

●2015年障がい者雇用支援スタッフ養成講座のご案内

- ・日程：11月5日（木）・12日（木）・19日（木）
3日間 10時～17時
- ・会場：（一社）大阪ビルメンテナンス協会

研修室

- ・参加費：会員7,000円 一般10,000円
 - ・締め切り：10月22日（木）必着
- ※FAXにてご案内しております。詳細は事務局まで。

会員だより

●入会

- 〔正会員〕
- ・株式会社 テックヤマオカ
〒530-0015
大阪府北区中崎西1-8-24
アインズビル梅田401
TEL 06-6375-5757
FAX 06-6375-5750
代表取締役 山岡弘幸様
(平成27年9月1日より)

- ・ジャパンビルメンテナンス株式会社
〒543-0013
大阪府天王寺区玉造本町10-20
真田山JBMビル
TEL 06-6764-5578
FAX 06-6764-5618
代表取締役 高橋直樹様
(平成27年9月1日より)

- ・昭和メンテナンス株式会社
〒567-0854
大阪府茨木市島1-21-17
TEL 072-638-0445
FAX 072-638-0432
代表取締役 吉川麻美子様
(平成27年9月1日より)

●代表者変更

- 〔正会員〕
- ・株式会社 大阪ビルサービス
(新) 代表取締役社長 穴吹政史様
(旧) 代表取締役社長 佐藤隆之様
(平成27年4月より)

- ・室町ビルサービス株式会社 関西支社
(新) 取締役常務執行役員支社長 石塚雅人様
(旧) 取締役常務執行役員支社長 喜田宏様
(平成27年6月29日より)

●住所・電話番号・FAX番号変更

- 〔正会員〕
- ・株式会社 太陽ビルマネージメント
〒532-0003
大阪府淀川区宮原5-1-18
新大阪第27松屋ビル12階
TEL 06-6392-3980
FAX 06-6392-3988
(平成27年9月14日より)

- ・株式会社 ツバキサポートセンター
大阪営業所
〒530-0005
大阪府北区中之島3-3-3
中之島三井ビルディング6階
TEL 06-6441-0481
FAX 06-6441-0053
(平成27年9月28日より)

●住所変更

- 〔正会員〕
- ・南北ビルセイビ株式会社
〒556-0011
大阪府浪速区難波中2-7-10
(電話・FAX番号は変更ありません)
(平成27年9月24日より)

●退会

- 〔正会員〕
- ・株式会社 阪神ビルサービス
(平成27年7月31日付)

講習会お知らせ

教育センターだより

(公財)日本建築衛生管理教育センター講習会予定

●貯水槽清掃作業監督者（再）

- ・受付期間 平成27年10月19日（月）～23日（金）
- ・実施期間 平成27年12月1日（火）～2日（水）
平成27年12月8日（火）～9日（水）

●防除作業監督者（再）

- ・受付期間 平成27年10月19日（月）～23日（金）
- ・実施期間 平成27年12月3日（木）～4日（金）

●排水管清掃作業監督者（再）

- ・受付期間 平成27年10月26日（月）～30日（金）
- ・実施期間 平成27年12月10日（木）～11日（金）

●防除作業監督者（新）

- ・受付期間 平成27年11月4日（水）～10日（火）

- ・実施期間 平成27年12月14日（月）～18日（金）
☆いずれも阪急千里中央ビルにて

※申込期間中、早めにお申し込み下さい。
用紙のダウンロード・お申し込みは公益財団法人日本建築衛生管理教育センターへ。
(ホームページ <http://www.jahmec.or.jp/>、TEL 06-6836-6605)

ゆとりを持って行こうよ 理事 北川 卓

OBMマンスリーにコラムをとの依頼があった。内容はテーマは自由“楽しい話題”とのこと、ムムム、困ってしまった。こんなことなら趣味の一つや二つ作っておくべきであった。しかし遅すぎた、原稿の締め切りまでには趣味を作るにも間に合わない。学生時代は時間にゆとりがあったので映画鑑賞・バイクのツーリングなど色々とした。最近は究極の面倒臭い病かも知れない。

仕方が無いので楽しい話題ではないが、最近感じていることを書いてみることにした。あくまでも一つの意見として聞いて頂ければ有り難いのですが、最近の日本人ってなんかギスギスして寛容さに欠けていると思いませんか？ 駅で電車が人身事故かなにかで遅れていると駅員に詰め寄ってクレームを言っている人。学校で少し先生が気に入らないからと言って（自分の子供にも問題があった場合でも）クレームを言う人。
少し前のことではあるが、あるコンビニでフォアグラの

入った弁当を販売しようとしたところ、フォアグラは動物虐待の商品だからとの動物愛護団体からのクレームで販売中止になったニュース。幼稚園での子供の声がうるさいから外で遊ばせないで、と言ったクレーム。等々何か違和感を感じるのは私だけなのでしょうか。

何か問題があれば皆評論家の如く騒ぎ立て、マスコミもこぞって批判する。気にいらないことがあれば、ネットでしかも匿名で批判するといったこともよくみられる。問題があれば正すことが間違っているとは言いつもりではないが、人の関心が薄くなれば一挙に話題にも出てこなくなる。批判していた人たちの正義感は何だったの？ と感じる。

そんな私も年を取って（年齢のせいにするつもりではないが）我慢することができず、陳腐な正義感でクレームを言うてしまうことがある。決して正論がすべて正しい訳でもないのに、なんと器の小さい人間なんだろうと自己嫌悪に陥る。自戒を込めて、皆さん、もう少し寛容になりませんか？ もう少しゆとりを持ちませんか？ そうすればもっと生きやすい世の中になるのに…。

この度、経営委員会でプロジェクトを進めているBCP (Business Continuity Plan: 事業継続計画) について、宣伝の意味も兼ねてシリーズにわけてコラムを投稿させて頂く機会を頂戴しました。私自身完全に理解している訳ではないにしろ、とっつきにくいながらもBCPは身近な存在であることを御理解頂ければ幸いです。

その為、突然BCPの内容に入るのではなく、そもそも我々の身近な生活の中にBCPに関連するものがあるのではないか?『あの事がBCPと同じならば、何となく分かるかも』というスタンスでコラムを進めていきたいと思います。

さて Business Continuity Plan と聞くと、英語表記でまず日本発祥ではないなと気づきます。BCP発祥の地はイギリスだそうで、長年アイルランド紛争等から爆弾テロが頻発し、突然の機能停止に対応するノウハウの蓄積から形になってきたのだとか。…こう聞くとますます身近な存在ではないような気になりますが、「突然の機能停止」は何も紛争やテロに限ったことではありません。我が国は地理的な特異性から世界でも稀なぐらい地震・台風等の天災によって「突然の機能停止」に見舞われてきた歴史があります。

と同時に『事業継続計画＝会社が長く続く＝創業〇〇年』と読み替えると、BCPが何やら急に身近な存在になると共に、創業100年以上が10万社以上、創業1,000年以上は7社という日本は世界でも稀にみる事業継続性のある国であることがわかります。また、古来より日本は

個人中心ではなく家中心の様式を整えてきた為、家業＝事業の継続という視点ではよりBCPに親和性があるかもしれません。

「おや、日本は自然災害が頻発し、しかも事業継続計画の実証が豊富ではないか。もしかすると日本は事業継続計画先進国かも?」そう思って安心された方、BCPに取り掛かるにあたり、苦手意識を払拭するという意味では、その安心感を抱いて頂いて結構かと思います。

今回のコラムの結論をいえば、BCPの主要な目的のひとつは『顧客への信用維持』であると言う事ができます。では創業の古い企業はどのように顧客への信用を維持してきたのか?現在に比べ自然の驚異が圧倒的であり顧客共々被災することもあった事。長い間には良い時もあれば不慮の事象で家業が傾くこともあった事。このような状況にあつて、人々は普段から『嘘のない仕事』を個人ではなく家業というグループで磨き上げる事によって『顧客への信用維持』を最大限に高めていた。そのことが顧客共々被災した場合にも、互いの事業継続の為の復興に協力し合う土壌を醸成していたという事実。

BCPの手法を学ぶにあたって、このような我が国固有のBCP (創業〇〇年＝事業継続計画) の基層をあわせて学ぶ事は決して無意味なことではないと思います。歴史に裏付けされた、このような基層を自身の中で再確認すること(顧客への信用維持こそBCPの目的のひとつ)で、各企業も落ち着いて、腑に落ちる形でBCPに取り組める一助になればと願ってやみません。

労務委員会 労働災害事故事例 (H27年7・8月度発生分より)

7 月度

1. 業務災害及び通勤災害数

①報告企業数 72件

②業務災害数 3件

[内 訳] 1ヶ月以上休業見込み 1件
15日以上休業見込み 0件
14日未満休業見込み 1件

③通勤災害 2件

2. 事故事例

①発生日時 H27年7月3日(火曜日)午後4時30分ごろ

②発生場所 大阪市浪速区難波中

③発生状況 B2F電気室内の一般電灯変圧器盤No.1内の変圧器温度計を確認しようと、保護パネルを外し温度計を右手で持ち確認したところ、一般電灯変圧器No.1の高圧部分に右手首より肘側へ10cmの場所に接触し、接触箇所及び指先を火傷した。

④怪我の状況 電撃熱傷 休業4日以上。

⑤原因及び対策 調査方法の誤りにより温度計センサー管及び温度計本体の温度を触診しようと絶縁手袋を使用せず点検を実施した。またKY作業前ミーティングを行わず作業を行ったことが主な原因と考えられる。再発防止対策としては、まず基本のKY作業前ミーティングを実施して、危険箇所を洗い出し、作業手順の確認等を話し合い、作業を実施することが大切である。

8 月度

1. 業務災害及び通勤災害数

①報告企業数 51件

②業務災害数 3件

[内 訳] 1ヶ月以上休業見込み 1件
15日以上休業見込み 0件
14日未満休業見込み 1件

③通勤災害 2件

2. 事故事例

①発生日時 H27年8月15日(土曜日)午前5時45分ごろ

②発生場所 京阪 大和田駅 改札

③発生状況 自宅より、自転車で最寄駅まで通勤し、駅改札まで徒歩で進み改札手前でふらつき転倒し、左腕を骨折した。

④怪我の状況 左腕骨折 休業31日以上。

⑤原因及び対策 この日はかなりの猛暑で、通勤時すでに摂氏30℃を超えていたと思われ、週末等がかさなり、疲労の蓄積及び加齢によるものと考えられる。
再発防止対策としては、この日のような猛暑日は、特に体調管理に気を付け、少しの異変も逃さないことが重要である。

O B M行事予定

9月	25	金	労働衛生大会(ドーンセンター)	インスペクター講習水準調整会議
	26	土		
	27	日		
	28	月	医療関連サービスマーク書類作成説明会	
	29	火	KKC電力自由化セミナー	
10月	30	水		
	1	木		
	2	金	理事会	
	3	土		
	4	日		
	5	月		
	6	火	インスペクター2級P講習会(大阪科学技術センター)	KKC建築物清掃コース
	7	水	環境衛生委員会	" (2日目①) "
			KKCビルクリーニング技能及び実技研修(床)	
	8	木	総務友好委員会	インスペクター2級P講習会(2日目②大阪科学技術センター)
	9	金		
	10	土		
	11	日		
	12	月		
	13	火	設備保全部会	インスペクター2級M講習会(大阪科学技術センター、～14日)
			KKC建築物清掃コース	
	14	水	OBM会長杯親睦ゴルフコンペ(泉ヶ丘カントリークラブ)	
			KKCビルクリーニング技能及び実技研修(床)	
	15	木	契約推進委員会	
	16	金	警備防災部会	
	17	土		
	18	日		
	19	月	労務委員会	
	20	火	広報委員会	OBM日帰り懇親旅行
	21	水	公益事業委員会	BCP策定プロジェクト
			KKCビルクリーニング技能検定学科試験対策講座	
	22	木	賛助会ミニ展示会・講習会	
	23	金	ビルクリーニング部会	人材育成セミナー
	24	土		

K K Cお薦め講習会(10・11月)

10・11月実施予定のK K C主催の講習会は次のとおりです。受講希望の方は、申込書をK K Cホームページ(<http://www.bmkkc.or.jp/>)よりダウンロードし、必要事項をご記入の上、F A Xにてお申込みください。定員になり次第締め切らせていただきますので、お早めにお申込みくださいますようお願い申し上げます。

●ビルクリーニング技能及び実技研修

資機材の扱い方を身につける実技のみの研修です。ビルクリーニング技能検定で使用する資機材を中心に、正しく、安全で、効率のよい作業ができるよう反復訓練し、扱い方を身につけていただきます。

<日 時>

①床表面洗浄作業コース

10月7日(水)・14日(水)・28日(水)・29日(木)

【計4日間】13時～17時

②ガラス・カーペットコース

平成27年11月 18日(水)・19日(木)

【計2日間】13時～17時

<会 場>新清風ビル(中津)講習会場

<対 象>実務経験2～3年程度の清掃業務従事者、ビルクリーニング技能検定受検予定者で資機材の扱い方に不安のある方など

●ビルクリーニング技能検定 学科試験対策講座

過去に出題された試験問題を元に作成した講師オリジナルの模擬問題を使用し、ベテラン講師が試験の重要ポイントの講義及び解説をわかりやすく行います。

<日 時>(第1回)10月21日(水)／(第2回)11月6日(金) 9時～17時

<会 場>新清風ビル(中津)講習会場

<対 象>平成27年度ビルクリーニング技能検定受検予定者(学科)

※各日単体での受講も可能ですが、各日とも内容の異なる模擬問題を解くため、2日間の受講が一層効果的です。

●ビルクリーニング技能検定 実技試験対策講座

「ビルクリーニング技能検定」の実技3課題(床・ガラス・カーペット)の全工程通しての反復訓練のみを行う、実技講座です。

<日 時>11月25日(水)・26日(木) 9時～17時

<会 場>新清風ビル(中津)講習会場

<対 象>平成27年度ビルクリーニング技能検定受検予定者(実技)

●高圧電気設備コース(大阪府認定職業訓練)

特別高圧・高圧電気管理業務の知識と技能を身につけます。労働安全衛生規則第36条による特別教育で、修了者には「高圧電気特別教育修了証」と職業能力開発促進法に基づく大阪府知事の「認定訓練修了証」を交付します。

<日 時>11月9日(月)・12日(木)・16日(月)【計3日間】10時～17時

<会 場>にちほビル研修センター(㈱日本電気保安協会)

<対 象>ビル設備管理に携わる作業従事者

申込・問合先：一般社団法人関西環境開発センター(K K C) 教育訓練部

電 話：06-6372-9123

F A X：06-6450-8038

E-MAIL：bmkkc@swan.ocn.ne.jp

URL：<http://www.bmkkc.or.jp/>

編集雑感

愛車と呼んでいる

会社でNHKの正午のニュースをみて、BSにチャンネルを変えると、『にっぽん縦断 ころろ旅』の再放送をやっていることがある。

知ってる人は知っている番組。視聴者が心に残る風景を手紙に綴り、俳優の火野正平が自転車でその場所を訪ね、手紙を読み上げる構成。途中、昼飯を食ったり、急坂でギブアップして通りがかりの軽トラに乗せてもらったりのユルユル番組だが、面白くて、昼飯は後回しで見入ってしまう。

実は(というほどたいそうなことではないが)、私もかつて自転車乗りだった。

10年ほど前、4度目の東京単身勤務のとき、大学生だった自転車好きの次男から薦められ、街乗り用スポーツ車のクロスバイクに乗り始めた。これに、はまっ

歩くほど遅くない。車ほど速くはな

い。風を感じて気持ちいい。好きな時代小説の舞台を訪ねるのにも便利で、週末はすっかり自転車生活者になった。

3年で大阪勤務に戻ったが、1年後にまた東京勤務となった。クロスバイクは卒業し、よりスピードの出るロードバイクに乗り換えた。この自転車、サドルが硬く、靴がビンディングでペダルに半固定されているので、乗りこなすまで修業が必要だ。住まいに近い荒川河川敷でトレーニングを重ねた。

自信がついたところで、ツーリングを始めた。『ころろ旅』では、火野が自転車を分解して袋に収納し、列車やバスに乗るシーンが出てくる。「輪行」といって、行動範囲を一気に広げる手段だが、その輪行で利根川流域、奥多摩、房総半島、三浦半島、志賀高原などへと足を延ばした。

思い出に残るのは富士山麓一周だ。御殿場まで輪行してスタート。110キロほどのコースで、途中、大きな峠が三つある。上りは地獄だが、下りは天国。車並みのスピードが出る。二つ目の峠の下り

ではトラックを追い越した。70キロ近く出ていた。よく転倒しなかったものだと、今も冷や汗が出る。

さて、単身生活を彩ってくれた愛車だが、今は家の倉庫で眠っている。東京から帰任した当初は、地域の自転車チームに入り、走っていた。しかし4年前の夏のこと、炎天下のトレーニングで一瞬ボーっとし、前を行く車の急停車に反応できず、追突した。顔を6針縫ったが、幸い自転車の躯体(フレーム)が大破して衝撃を吸収してくれ、体は打撲で済んだ。自転車はフレームを取り替え、乗れるように修理したが、憑き物が落ちたように乗る気が薄れた。

「もう乗らないの?」と聞く妻には、「年だし、週末は君と過ごす方が楽しい」と答えて、ゴマをすっているが、「年だし」は本心ではない。火野だって66歳だ。

『ころろ旅』を見ていると、体のどこかがムズムズする。愛車と呼んでいるのかもしれない。すっかり筋肉が落ちた脚と脂肪のついた腹をさすりながら、迷う自分がいる。(N・O)